

第 1 回緑区地域福祉計画策定委員会議事要旨

日時：平成 16 年 7 月 25 日（日）午後 2 時～ 4 時

場所：緑区役所 5 階講堂

出席委員：25 名中 21 名出席

事務局：緑区 小川区長

保健福祉総務課 片岡参事、皆川主幹、高須主査、
和田副主査、仙田主事、西森主事、
菊池副主査

介護保険課 木村主事

障害保健福祉課 高野主事

高齢福祉課 及川副主査

緑区役所福祉事務所 石井係長、角野主事、渡辺主事

関係者：1 名

傍聴人：0 名

会議内容

次第に従い、開会后小川緑区長が挨拶。

その後各委員が地域で活動していること、地域福祉計画に寄せる思いを交えながら、自己紹介した。

自己紹介後、議題に移った。

< 議題 >

(1) 会議の公開について

委員に区策定委員会の公開・記録についての意見を聴いた。

公開・記録についての異議はなかったので、今後の区策定委員会は公開し、記録又内容についてはインターネット等を通じて市民に周知する。

(2) 各地区フォーラムの取組状況について

資料を基に各地区フォーラム委員長が第 3 回フォーラムまでの取り組み状況について報告した。

「 誉田地区フォーラム 」

委員長： キーワードの設定については、とりあえず、問題ごとに、共有化、類型化、グループ化を行った。

キーワードの整理について

- 1 キーワードはすべてにおいて他のキーワードと接続している。
- 2 問題の対象及び範囲が多岐に渡るため、現段階で、キーワードを決定してしまうと、まだ、グループ化されていない問題が消えてしまう可能性がある。
- 3 これからキーワードの解決策を検討するにあたり、現状の行政サービスの状況を把握することが必要不可欠である。
- 4 社会福祉協議会の活動計画との整合性を図る必要がある。
- 5 地域福祉と行政との関わりを考慮して検討すべきである。

誉田地区フォーラムにおいては、先に述べたとおり、キーワードは、すべてにおいて他のキーワードと接続していることから、これらキーワード全てに共通したテーマとして「安心して暮らせるまちづくり」を目標課題とし、それらを実現するために必要なキーワードについて検討をはじめることとした。

また、キーワードの検討をはじめるにあたり、次にあげたことを前提として検討を進めていくこととした。

- 1 キーワードは、すべてにおいて他のキーワードと接続しているので、整合性を図りながら検討を進める。
- 2 検討の対象及び範囲は決定するが、キーワードの設定にはこだわらない。
- 3 キーワードの解決策を検討するにあたり、現状の行政サービスの状況を把握しながら検討を進める。
- 4 社会福祉協議会の活動計画との整合性を図りながら検討を進める。
- 5 地域福祉と行政との関わりを考慮して検討を進める。

なお、キーワードの検討の順位については、児童・障害者・高齢者のそれぞれに共通横断的な課題であり、誉田地区の交通の拠点でもある大網街道はじめとする地域の交通の事情について、ハード面（歩道整備等）の現状を把握しながらソフト面での解決策の検討をすることとした。

「椎名地区フォーラム」

委員長： キーワードを30ほど設定し、9個に集め、さらに5個に集約した。5つのキーワードは次のとおりである。

1．コミュニケーションの場

高齢者の集う場が不足している。

地域における障害者と健常者のふれあいの場がない。

2．施設活用に対する不足

介護施設に入所させたいが出来ない。

児童の遊び場が不足している。

障害者が学校を卒業後の生き方の問題、交通機関、地域での受け入れ先がない。

その他、保育施設が十分でない。

3．緊急時の支援

高齢者、障害者の一人暮らしは、緊急時、地震・災害の際にどういう対応をしたらよいか。例えば情報の発信、処理の問題など。

聴覚障害者の支援については誘導装置がない。

夜間救急病院に行っても手話通訳がないという問題がある。

4．身近な支援

ボランティア活動をしてくれる人の不足の問題がある。

5．交通対策

椎名地区の地区特性と考えるが、特に交通の便が悪く、バス交通がないため、区役所等へのアクセスが不足している。

「おゆみ野地区フォーラム」

委員長： 作業手順は他の地区フォーラムと同様に行った。

おゆみ野地区全体で住民全体が感じ取れる「住んでいてよかったな」と思えるのが私達の理念である。

独居老人に対する支援。

児童については、子育て・居場所づくり、機会・場所をいかに調和をとりながらやっていくか。

障害者についてはバリアフリー、公共施設関係視覚・聴視覚障害者への音声誘導装置・標識による誘導がされているか。

差別・偏見等の住民自身による心のバリアフリーが大切。

犯罪も問題になっているが、まち全体が福祉に対する意識を

持っている。

大きく4つのキーワードがでた。

ふれあいの場づくり、こころのバリアフリー化、子どものふれあいの場づくり、福祉・防犯ネットワークである。

問題を考える中で解決策が出てくるが、具体的なものが出てくれば、行政との役割分担の中で行政にお願いするものはぜひ検討をお願いしたい。

「土気地区フォーラム」

委員長： 手順等是他地区フォーラムと一緒にである。

キーワードとして、交流の場が出た。

土気地区全体をみると障害者にとって優しいまちになっていない。

障害者は美浜の療育センターまで行っている。

経済的な負担の軽減も問題である。

交通関係として、医療機関にいくまでの交通手段が見つからない。情報としては、土気では社会福祉協議会が医療機関情報などデジタル化してすこやかネットNPOが引き継いで行っているが、利用者をいかに増やすかが問題、社協でのメンテは困難である。

ふれあい交流会に自治会が人の交流の場をヘルプしている。地域の中心は町内自治会である。

誉田地区から社協との整合性を述べているが、社協の取り組みが進めば地域福祉計画が進むと思われる。

本部からの社協地区部会への助言・指導が必要である。

地区部会の拠点がない、福祉活動推進員への研修が充実していない。民生委員などからみると名ばかりです。

それは、社協の問題でもあるが、地域福祉計画策定への社協の果たす役割が大きい。

皆さんから教えて頂いて、社協との関係を考えていきたい。

< 取組状況に関する質疑応答 >

委員： 基本的な所を提言したい。ベースがあるのか。

これだけの調査（検討）をやって、いきなりキーワードで整理したためか木を見て森を見ずになっていないか。

まず、緑区の福祉の現状をみるべきではないか。

緑区の福祉構造からイメージを作る必要がある。

基本はコミュニティのとれたまちづくり、サザエさんのコミュニティはすばらしい。

同様に武蔵野市のコミュニティはあいさつの文化である。

沖縄の高齢者、アフガンの精神患者、家族周辺で支え合いを構築している。

心も通わない高齢者施設を作ってもしょうがない。

緑区の構造上、新旧の住民のコミュニティがない。

今回の計画も今までの行政計画と同様な心の通わないものものとなってしまう。

社会参加はコミュニティにより支えられる、武蔵野市は社会教育費の比率が高く市民を教育している。

木を見て、森を見ずの状態になっていないか。

委員： 多くが同様な内容となっている。

各フォーラムと行政が力を合わせて共通の役割を担っていくべきではないか

出された物で、すぐ出来る物は実施すべきではないか

東京都、介護保険では、東京都から問題が出され、住民も問題を出した。

今回、行政が聞き役のみになっているのは違和感を感じている。

委員： おゆみ野社協地区部会が実施したアンケートが基本ではないか。どのように実施し、どこに活かされているのか、行政だけを責めていても前に進まない。

福祉マップはいいが、インターネットだけでは高齢者が見れないのでは。

委員： 社協の地区部会を設立する際に実施した、おゆみ野地区アンケート結果は委員の発表した問題とほぼ一緒であった。

問題解決の中で、行政は何をすべきか示すべきである。

1点目は、福祉計画があるのか、あるならば福祉計画の進捗状況を示してほしい。

2点目は、行政に研究して欲しいことがある。指定管理者制度である。

千葉市が社会福祉協議会に子どもルームの委託業務をしているが、指定管理者制度の導入により子どもルームの委託先が変わる可能性がある。来年度以降の指定管理者制度について研究

してもらいたい。

委員： 各地区でのアンケートを作ったとかの情報交換してもらえないか。

事務局： 各計画については進捗状況を、フォーラムの中で、説明します。

緑区で実施した基礎調査報告書を次回までに送付します。

そこには、人口データも入っていますので、活用ください。

委員： おゆみ野地区のアンケート調査はいつでも提供できます。

委員： アンケート調査は、自治会未加入の所でも実施して欲しい。
子どもルーム、8時30分までルームの前で待っている。
老人いこいの家はすぐできるのでは。

委員： アンケート対象5千所帯が、地域が散らばっている。

委員： 地域の福祉問題を明確にするには、人口データが必要、町内自治会に30～40%が未加入。

委員： 人口では、精神（障害）は全然でてこない、高齢者は一時期、精神（障害）は一生である。

(3) 委員長，副委員長の選任について

4名の地区フォーラム委員長の中で、話し合いで決めることになった。

地区フォーラム委員長4名の話し合いで、川瀬委員が委員長を、岡本委員が副委員長として選出され区策定員会の承認を得た。

次回開催予定は、1月を予定。

以上